

◆環境パフォーマンスデータ（エネルギーと温室効果ガス排出量の状況）

	2019年度 2019年2月～2020年1月	2020年度 2020年2月～2021年1月	2021年度 2021年2月～2022年1月	2022年度 2022年2月～2023年1月	2023年度 2023年2月～2024年1月	2024年度 2024年2月～2025年1月			
							2019年度比		
エネルギー使用量 (G)		117,422※	105,194※	93,178※	52,740※	68,998※	69,504※	-47,918	-40.8%
		(406,863)	(364,489)	(336,496)	(264,635)	(311,270)	(309,737)	(-97,126)	(-23.9%)
	電気	103,071	90,544	82,533	49,387	62,602	63,339	-39,732	-38.5%
		(363,155)	(328,249)	(308,374)	(243,022)	(282,040)	(282,368)	(-80,787)	(-22.2%)
	ガス	179	886	434	1,574	4,868	4,605	4,426	2,472.6%
		(13,602)	(7,921)	(6,679)	(15,345)	(23,847)	(21,870)	(8,268)	(60.8%)
	その他熱	14,171	13,763	10,210	1,778	1,527	1,560	-12,611	-89.0%
		(30,105)	(28,319)	(21,442)	(6,268)	(5,382)	(5,498)	(-24,607)	(-81.7%)
	原単位 (G/m)	(1.930)	(1.613)	(1.553)	(1.446)	(1.434)	(1.444)	(-0.486)	(-25.2%)
	温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂) (注1)	29,050 (注2)	16,132	8,675	1,597	4,334	18,321 (注2)	-10,730	-36.9%
Scope1	108	44※	21※	78※	242※	413※	305	282.5%	
燃料由来	8※	44※	21※	78※	242※	236	228	2,850.0%	
フロン類	99.9 (注3)	—	—	—	—	177	77	77.0%	
Scope2	5,467※	4,586※	2,363※	161※	873※	1,133※	-4,334	-79.3%	
Scope3	23,476※	11,501	6,289	1,358	3,219	16,775※	-6,701	-28.5%	
カテゴリ1	3,895	—	—	—	—	4,560	665	17.1%	
カテゴリ2	4,164	—	—	—	—	7,853	3,689	88.6%	
カテゴリ3	1,049	—	—	—	—	600	-449	-42.8%	
カテゴリ5	754	—	—	—	—	209	-545	-72.3%	
カテゴリ13	13,614	11,501	6,289※	1,358※	3,219※	3,553	-10,061	-73.9%	
原単位 (t-CO ₂ /m) (注2)	0.138	0.071	0.040	0.009	0.020	0.085	-0.052	-38.0%	

(注1) 2020年度～2023年度の温室効果ガス排出量Scope3はカテゴリ13のみを対象に集計、2019年度と2024年度以降の数値はカテゴリ1,2,3,5,13を対象に集計しています。

(注2) 2019年度と2024年度以降の数値はフロン類を含む数値を記載しています。

(注3) 2019年度のフロン類は推計値を記載しています。

* エネルギー使用量、温室効果ガス排出量は2月～翌1月の事業年度単位で集計しています。

* 原則として、上記はすべて各年度における底地を除く不動産ポートフォリオ全体での数値であり、共有又は区分所有物件については持分換算を行っています。

* エネルギー使用量は、本投資法人が管理権原を有する部分を対象に算定しており、括弧内はテナントによる排出量を含めた実績値を記載しています。

* ガス使用量は、テナント直接契約分等集計困難なデータを一部対象外としています。

* 原単位は以下の計算方法で算出しています。原単位＝使用量÷（延床面積（期中保有日数加重平均）×保有持分×年間平均稼働率）

* 2020年度～2023年度の温室効果ガス排出量について、Scope1は共用部分における都市ガスの使用量、Scope2は共用部分における電気、温冷水、蒸気の使用量、Scope3はカテゴリ13（専用部分およびテナント直契約分の電気、温冷水、都市ガスの使用量）の数値をそれぞれ記載しています。

* 2019年度と2024年度以降の温室効果ガス排出量について、Scope1は共用部分における都市ガスの使用量およびフロン類の合計値、Scope2は共用部分における電気、温冷水、蒸気の使用量、Scope3はカテゴリ1（購入した製品・サービス）、カテゴリ2（資本財）、カテゴリ3（Scope1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動）、カテゴリ5（事業から出る廃棄物）、カテゴリ13（専用部分およびテナント直契約分の電気、温冷水、都市ガスの使用量）の数値を記載しています。

* ※を付したデータは独立第三者による限定的保証を受けています。